

学校便り 3月号

令和4年2月22日発行

和歌山市立岡崎小学校

学校長 塩谷 通功

今年度も締めくくりの時期になりました

夏の東京五輪に続き、2月2日から開幕していた冬の北京五輪が20日に閉幕しました。連日報道された日本選手団の活躍や各国の代表選手の活躍に感動することが多く、長引くコロナ禍にあって元気づけられたのは、私だけではなかったのではないのでしょうか。

先日のことですが、朝、校門前に立っていた時、一人の女の子が私のところに、にこにこしながら近づいてきました。

いったい何の御用かしらとっていると、「二重とびができるようになった」と教えてくれました。まだまだ飛べる回数は少ないものの、とても嬉しそうに話してくれました。

二重とびが出来るようになったのは、最近運動場に備え付けた練習台のおかげだということでした。この女の子が使っていた練習台は、お子様を通じて学校に届けて下さったベルマークのポイントで購入したものです。

お一人お一人のご協力のおかげで、子供達の喜びにつながっていること、感謝申し上げます。また、ベルマーク・環境委員会の子供達、厚生部ベルマーク担当の方々、ありがとうございました。引き続き、ご支援よろしく申し上げます。

さて、早いもので今年度も残すところ一か月あまりとなりました。学校では、一年の締めくくりの時期を迎えます。学習のまとめをすると同時に、次の学年に向かう心構えや準備をしていくこととなります。

6年生にとっては、卒業に向けての大切な時期。今、6年生は、小学校6年間をしめくり、強く確かな「節目」を作ろうとがんばっています。5年生は、最高学年のバトンを受け継ぎ、立派に責任を果たそうと張り切っています。4年生は、いよいよ高学年の仲間入り。3年生は、中学年のリーダーとして活躍しなければなりません。2年生は中学年へ。1年生は、新しい1年生を引っ張る、低学年のリーダーにならなければなりません。この時期を有意義に過ごし、よい締めくくりをしていきたいと思えます。

最後になりましたが、保護者の皆様、地域の皆様方に支えていただき、これまで無事教育活動を展開できておりますこと感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。